

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	セカンドプレイス		
○保護者評価実施期間	2025/12/1		2026/1/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025/12/1		2026/1/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/11		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境の良さ。	小集団支援に取り組む中で、スケジュールを行う場所、話し合いを行う場所、活動を行う場所とが明確に分かれていることで子どもたちがとるべき行動が理解されやすい。	その逆もあり、そこに行けばその活動に入れるといった誤学習にも繋がりやすいため、スケジュールの大切さ、スケジュールをこなしてから、その場所に入るという行動提示が更に大切になる。不明確な場所や行動を作らないことで、更に子どもたちの的確な行動評価につなげたい。
2	子どもたちが通所を楽しみにしている。	子どもたちの楽しいから活動を決めている。支援者の設定遊びの中にもその日にくる児童への楽しさや、スポットの当たる支援を取り入れている。	子どもたちの楽しさの中に「少し頑張る」「少し待つ」「少し我慢する」などの行動を入れ、更にできた時賞賛を加え子どもたちの良さを広い集団へつなげられるよう支援する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会の実施。	今年度中々モニタリングの参加などでしかお会いする機会も作れなかった。面談の機会が少なかった。	来年度は、保護者様と面談の機会を設け、密に連携を取りながらご家庭での様子や就園先での様子など情報共有ができるよう努めたい。来年度のセカンドプレイスの事業所目標にも取り入れていきたい。
2	子どもたちの安全面に対する周知	訓練や実際にセカンドプレイスで行われている研修等の発信が少なかった。	今後も定期的な訓練等を実施し、その経過を報告する。子どもたちを巻き込んだ実際の災害を想定した動きを確認することでいつ非常事態が起きてても安心していただける事業所になるよう努めます。
3			

公表 護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 セカンドプレイス

公表日 令和 8 年 2 月 23日

利用児童数 23人

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18			1	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18				活動の見学ができると嬉しいです（時々） ご意見ありがとうございます。内容について、ご意見も踏まえて来年度形にしていきたいと考えます。その際はぜひご参加ください！
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1		1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	19				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19				いつも細かくLINEで様子を教えてくださり感謝しています。事業所のことは何が正解なのかわかりませんが、その場にあった支援をしてくれ、子どもたちが楽しんで行くので、楽しんで成長すると所を作ってくれていると思いながら感謝しています。 ご意見ありがとうございます。利用してくれる子どもたちが楽しく通える場所になっており嬉しく感じます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1		2	ご回答ありがとうございます。個別支援計画書の中にも計画されている項目であり、私たちが大切にしている項目でもあります。今後は丁寧なわかりやすく説明できるよう努力いたします。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1		1	いつも楽しい活動をありがとうございます。具体的などでいいので、その活動の意味合いを教えていただけたらありがたいです。（LINEの一斉配信などでも） ご意見ありがとうございます。内容を検討し来年度支援の内容についても理解していただき共有できる機会を増やしていきたいと思います。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	1	1	3	特に必要性は感じない（普段保育園に通っているため） ご意見ありがとうございます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	1	2	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	1			園や家ではどうですか？など、こちら以外では出さない子の様子など伝えたい。 ご意見ありがとうございます。日々の活動報告では、セカンドプレイスでの内容がメインになっていました。保護者様からの日々の様子を聞く場を作りたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18		1		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17		1	1	先生によってですが、不安になる言 い方をされると元々心配性なので不 安に感じることの多い子育てがさら に不安に感じてしまう事もあります 。前向きな言葉を伝えてほしいです 。子どもは楽しく通えているのでそ こは本当に感謝していますが、親の 気持ちは置いてけぼりだなと感じま す。（先生ともう少し話ができる時 間がほしいなと感じます）	ご意見ありがとうございます。伝え方 で不安にさせてしまい申し訳ござい ません。ご意見にもあったように支援者 とも話のできる機会を設け日々の成長 などを共有できる機会を定期的につ つていきたいと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	5	2	5		ご意見ありがとうございます。今年度 のイベントは父母中心に行っていまし たが、来年度はきょうだい児につい ても交流できる機会に努力したいと思 います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1		1		回答ありがとうございます。子ども やご家族からの相談申し入れについ ては、常にお受けできます。どのよう な相談でも構いませんので、子ども たちやご家族にとって第二の居場所 になれるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18		1			ご回答ありがとうございます。子ども の実態に合わせたツールや支援方法 を変えて意思疎通を図ったり情報伝 達を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1		2		ご回答ありがとうございます。今年度 はInstagramでの情報発信に力を 入れて活動を行ってきました。また、 会社HPやLINE等も活用しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			1		ご回答ありがとうございます。個人情 報につきましては、契約時に承諾書 をお願いしています。また、今年度は Instagramの承諾書の実施も行 ってきました。今後も個人情報の取り 扱いは留意して支援を行っていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	1	3		ご回答ありがとうございます。避難 訓練は定期的に行っておりますが、 開示されておらず申し訳ありません。 子どもたちの安全を守るための訓練 を引き続き行い、活動報告まで行 います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2	1	6		ご回答ありがとうございます。避難 訓練は定期的に行っておりますが、 開示されておらず申し訳ありません。 子どもたちの安全を守るための訓練 を引き続き行い、活動報告まで行 います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16		1	2		ご意見ありがとうございます。今後も 、子どもたちの安全面に配慮し環境 を設定を行い支援します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2		1		ご意見ありがとうございます。今後も 、子どもたちの成長に寄り添った支 援を行っていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19				活動の日の朝は毎回「今日はセカ ンドだ！」と嬉しそうです。 「今日は療育？」と毎日聞いてく るくらい楽しみにしています。	ご意見ありがとうございます。利用を 楽しみを持ってきてくれてとても嬉 しく感じます。更に楽しい事を準備 して待っていますね。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1			はなまる！ いつもありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。スタッ フ一同今後も子どもたちの為に一生 懸命な支援を考えていきます。

公表 業所における自己評価結果

事業所名	セカンドプレイス		公表日		令和 8 年 2 月 23 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・その日の利用に応じて変化をつけている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・視覚的提示物の利用 ・スケジュールの視覚化・トイレのバリアフリー・個別の物の区別	・細かい設定の視覚的提示物の幅を広げること。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・チャイルドシートや玩具の消毒・必要に応じて空間を仕切る等の支援を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個別の時間を過ごすための「落ち着く部屋」の存在	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・月間目標の作成	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・ヴァインランド評価の実施	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・会社独自の公開療育や交換研修などを実施している。昼礼やMTGを行っている。 ・スタッフみんながよく話を聞いてくれる	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	・実施できていない	・自事業所を第三者から評価していただける機会があれば実施していき、ご意見を伺う機会にしていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・交換研修・スキルアップ研修・合同研修 ・必須研修・3月全体研修	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・ヴァインランド評価を行い計画に入れ支援を行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・月に目標決めを行う。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・ヴァインランド評価・WISC評価(病院にて実施)・行動観察・ST評価	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・入職したばかりなのでガイドラインの把握がまだできていない	・児童発達支援のガイドラインの周知徹底
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・活動の記録を「支援BOOK」として記録し継続させたいものはそこらか継続させ、固定を避けるべきものは記録から固定化を避けるような促しを行う。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個別、集団、小集団での支援を実態に分けて実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・日誌の活用	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		昼礼の実施等	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		入職したばかりでまだモニタリングに参加したことがない。	・定期的なモニタリングの実施について目的や参加した時の動きについてスタッフみんなで考え、適切な更新が可能になるよう
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・事業所で保育所等訪問支援を活用し支援に活かし事業所内での汎化を促している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・移行支援シート、移行支援会議の参加	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		・今年度センターとの連携した協議会の参加等ができておらず、来年度の研修について積極的に参画できるよう準備しておきたい。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・今年度実施する機会ができておらず、来年度の行動目標などの入れて準備をしていきたい。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・ペアトレ、ペアプロの実施はできていないが家族支援は取り入れている。	・今年度ペアトレの研修会に参加でき、センター主催のペアトレ事業に参加したが、途中で途切れてしまいその後の動きが見えなくなっている現状がある。保護者様にとって気になる部分でもあるため、研修等積極的に参加し還元していきたい。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・自分にはまだ難しい。	・契約の際の説明では、細かく理解を得られるようにスタッフで自事業所の運営規定、支援プログラム、利用者負担等理解を深めていきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	・中々実施が難しい	・今年度実施する機会ができておらず、来年度の行動目標などの入れて準備をしていきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・保護者様の連絡の取りやすいツールを使用しコミュニケーションを行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・高齢者施設との交流（ハロウィン・クリスマス・餅つき）	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		定期的な訓練などを通して周知徹底できるようにしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・大きな災害を想定した机上訓練の実施。 定期的な火災訓練の実施。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・アレルギー対応児童に対してエビペンの講習を受ける。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		定期的な訓練などを通して周知徹底できるようにしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		身体拘束について定期的にスタッフと周知を行い共通理解を図っていく。	